



Special 特集 Edition

その1

平成12年度 予算

沖縄開発庁

総額3,431億6,000万円

(対前年度当初比104.6%)

沖縄振興開発事業費3,162億7,000万円

(対前年度当初比103.6%)

・うち公共事業関係費2,935億5,600万円

(対前年度当初比102.3%)

一般行政経費等268億9,000万円

(対前年度当初比117.4%)

本土復帰後、沖縄の振興開発のための諸施策が講じられ、沖縄の経済は総体として発展してきましたが、沖縄の現状は、生活・経済基盤面ではなお整備を要するものが多く、また、産業振興や雇用の問題など、多くの問題を抱えております。

平成十一年度沖縄開発庁予算は、このような沖縄のおかれた厳しい状況に配慮して編成されました。

政府予算のなかに占める公共事業関係費は、ほぼ前年度同額となっており、沖縄開発庁予算の大半を占める公共事業関係費は、二千九百三十五億五千五百万円(対前年度当初比二〇・一三%)となっており、沖縄に特段の配慮がなされております。

また、十一年度に引き続き、沖縄政策協議会関係の調整費として九十億円が計上されたほか、新たに、北部振興に関する特別予算として百億円が計上されるなど、沖縄重視の予算となっております。

1 沖縄振興開発事業費

(1) 県民生活に密着した施設の整備
・住宅の整備

公営住宅、特定優良賃貸住宅及び高齢者向け優良住宅の建設等を促進します。

・下水道の整備

公共下水道、流域下水道、都市下水路、特定環境保全公共下水道の整備を推進します。また、中部流域下水道、那覇浄化センターの下水処理水を高度処理し、那覇新都心地区を中心に雑用水として供給する「再生水利用下水道事業」を促進します。

・環境衛生施設の整備

西系列幹線導水施設の建設を推進するとともに、市町村の簡易水道及び上水道施設の整備を促進し、南大東村、北大東村の海水淡水化施設の増設、改良に着手します。



県営天久高層住宅(完成予想図:沖縄県)

・北大東村に「こみ焼却炉」を建設し、多良間村、国頭村、座間味村、渡嘉敷村の最終処分場や浦添市、中部北環境施設組合の与勝工場(勝連町)のこみ焼却施設の基幹改良事業等に着手します。



「しちやばる公園」完成予想図

・都市公園の整備
沖縄記念公園、海洋博覧会地区において新水族館建設を促進するほか、首里城地区において京の内の整備を進めます。

・中城公園等の整備を進めるほか、新たに、宜野湾市に「しちやばる公園(街区公園)」等の整備を進めます。



中部合同庁舎(福祉・保健所棟)

- ・教育施設整備
県立養護学校の整備(泡瀬養護、美咲養護)、老朽校舎の改築、学校水泳プール等の整備を行います。
- ・文化施設整備
国立組踊劇場(仮称)の建設を行います。
- ・保健衛生対策の推進
中部保健所(仮称)の整備等に着手するほか、医師歯科医師派遣事業等を引き続き行います。また、沖縄サミットにおける救急医療体制を確保するため本土から専任の医療スタッフ(医師、看護師)の派遣を行います。
- ・与那地区の地域防災対策総合治山事業及び国場川、安里川等都市部の河川改修事業や北前海岸、博愛漁港海岸、金武湾海岸等の海岸環境整備事業及び、久茂地川の河川環境整備事業を推進します。

(2) 水資源の開発

- ・羽地ダム建設を促進するとともに、引き続き大保ダム、億首ダム、生活貯水池の建設等及び儀間川総合開発等の実地計画調査を進め、また、福地ダム調整水路施設改良事業を進めます。
- ・西系列等水道水源開発等
大保ダム及び大保ダム以南の四河川と南部地域を結び、東系列水道施設とあいまって本島での安定した水道水の導水を行うための西系列等導水施設の建設を引き続き推進します。
- ・工業用水道の施設の整備を推進します。特に本島北部地域の振興等を図るため、名護市西海岸地区に対する工業用水供給施設の整備に新たに着手します。



羽地ダム完成予想写真



建設の進む都市モノール駅舎(空港駅)

(3) 交通体系の整備

- ・道路の整備
那覇空港自動車道、南風原道路、豊見城東道路の整備を進めるほか、沖縄都市モノールのインフラ部分等に重点を置いて道路の整備を進めます。
- その他、国道の整備、県道の整備、市町村道の整備、街路の整備を進めるとともに、土地区画整理事業、交通安全事業等を推進します。
- ・港湾の整備
那覇港において、臨港道路、空港線、新港ふ頭の国際海上コンテナターミナル防波堤等、中城湾港新港地区では泊地、岸壁等の整備を推進し、また、中城湾港クリスタウンプロジェクトを推進します。
- 平良港においては、防波堤の整備のほか、トリバー地区のコースタルリゾートプロジェクトを推進し、石垣港においては、防波堤、フェリー岸壁等の整備を進めます。
- 地方港湾においては、引き続き防波堤、岸壁等港湾施設の整備を進めます。

(4) 農林水産業振興の基礎条件の整備

- ・農業農村の整備
国営かんがい排水事業として羽地大川地区、宮古地区、沖縄本島南部地区及び伊是名地区の事業の推進を図るとともに、ほ場の整備や耕土の流出防止等畑地基盤の整備及び農地の防災保全を推進するほか、農道網の整備、農業集落排水等農村の生活環境の整備等や、畜産基盤再編総合整備事業等を推進します。
- ・空港の整備
那覇空港のエプロン等の整備を進めるほか、航空保安施設等の整備を進めます。新多良間空港の滑走路整備、宮古空港の誘導路の整備、久米島空港等他の空港についても航空保安施設等所要の整備を進めます。



那覇空港新ターミナル地域

・植物防疫対策等

ウリミハエについては、沖縄本島南部と八重山群島において再進入防止対策を、ミカンコミハエについても進入防止対策等を図り、イモソウムシ等の根絶のため、久米島においてウリミハエ同様の不妊虫放飼法による根絶防除実証事業を実施します。糖業振興についても引き続き助成を図ります。



イモソウムシ

・漁港の修築、改修、漁業集落環境整備事業等や増殖場造成事業等を推進します。
・森林保全整備事業、森林環境整備事業を推進します

(5) 沖縄北部特別振興対策特定開発事業推進費(仮称)

沖縄北部地域の振興策のために、公共事業関係経費として、五十億円を計上しております。

(6) 沖縄政策協議会関係経費

十一年度に引き続き公共事業関係経費に五十億円の調整費(公共事業費の内数)が計上されたほか、非公共事業関係経費として沖縄特別振興対策事業費(仮称)に四十億円が計上されております。この経費は、十一年度に実施した緊急対策事業、沖縄自動車道利用促進事業と沖縄県産業振興拠点整備事業の継続事業経費となっております。

2 一般行政経費等



首里城城郭等復元整備、不発弾等対策、対馬丸遭難学童遭難族給付金支給、位置境界明確化の継続事業のほか、新たに、沖縄戦に関する資料収集整理事業を行います。

駐留軍用地返還跡地の有効利用の促進に必要な調査やアドバイザー派遣事業を行います。

特別自由貿易地域中城湾港新港地区の活性化を図る観点から、同地区へ進出する企業に対する産官・学による協働体制の在り方及び管理運営主体の持つべき機能等について調査・検討を行います。

亜熱帯研究プロジェクトの可能性調査を行うとともに、沖縄における亜熱帯研究活動の推進を図ります。そのほかマングローブの生態系の変化、育種、植樹技術等についての調査研究を行います。



中城湾港新港地区

モデル流域等における総合的な赤土等流出防止策の構造調査を行います。

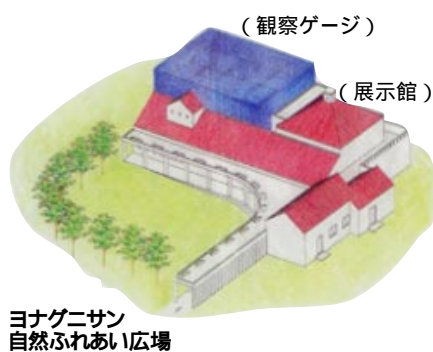
海洋深層水は、農業、水産業を始めとする有用物質生産、医療、健康増進分野等広い分野での利用可能性を有しており、取水適地とされる沖縄においての有効利用に関する調査を行います。

沖縄振興開発金融公庫の補給金等経費により、沖縄創業者等支援緊急特別資金の恒久化等の融資制度の拡充を行うほか産業開発資金に関する業務機能の拡充を図ります。

沖縄コミュニティ・アイランド事業経費により、施設整備事業として、与那国島(与那国町)に「ヨナグニサン自然ふれあい広場」を整備し、離島交流事業として、北大東島、北大東村で「フレンドリー北大東」を実施します。

沖縄の自然環境と伝統文化等を活かした滞在型・参加型観光の環境整備のため、ハード、ソフト両面からなる事業を促進する沖縄体験滞在交流促進事業の事業モデル策定等を行います。

第三次沖縄振興開発計画後の課題及び沖縄の振興開発の在り方の基本方向等を明らかにするため、総合的な調査を引き続き実施します。



沖縄北部特別振興対策事業費(仮称)

沖縄県北部地域の振興策のために、非公共事業関係経費として一般行政経費に五十億円を計上しております。